

高次脳機能 balancer 取扱説明書

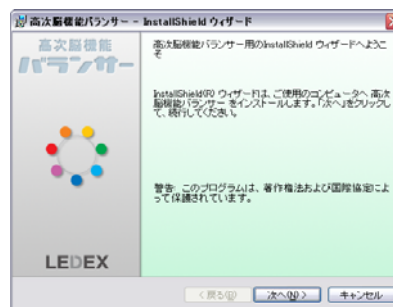
レデックス株式会社

インストール～起動

● インストール方法

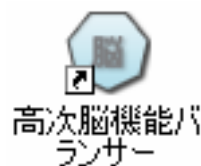
- CD-ROMを挿入すると自動的にインストールプログラムが起動します。
 - 自動的に起動しない場合は、CD-ROM内の「startup.exe」をダブルクリックします。
- 「インストール」ボタンをクリックします。
- インストーラーが起動しますので、指示に従ってインストールを行います。
- 通常は「次へ」ボタンをクリックし、先に進めていだけでインストールは完了します。

- ※ インストールが完了するまでには数十秒～1分程度かかります。
- ※ インストール作業は、1度行えばその後は必要ありません。



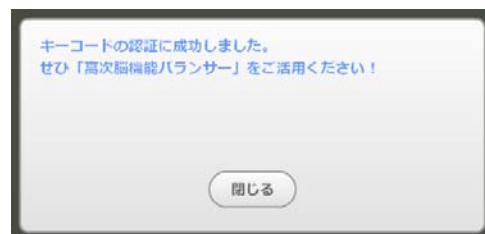
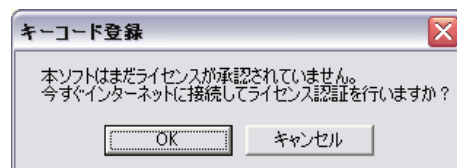
● 起動方法

- インストールが完了すると、デスクトップにアイコンが作成されます。このアイコンをダブルクリックし、本ソフトを起動します。
- インストールが完了すると、スタートメニューにも高次脳機能バランサーが登録されます。[スタート]-[すべてのプログラム]-[高次脳機能バランサー]から選択し、本ソフトを起動することもできます。
- 起動後、「高次脳機能バランサー」のタイトルロゴが表示されます。その画面の中央部分をクリックして、ソフトをスタートさせます。



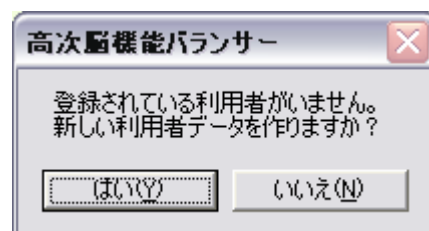
● ライセンス認証

- 「高次脳機能バランサー」の継続的な使用にはライセンス認証が必要です。
 - ライセンス認証には、キーコードが必要です。キーコードは、お買い上げいただいたパッケージ内に同梱されていますのでご確認ください。
 - ライセンス認証作業はインターネットに接続していることが必要です。インターネットに接続されていることを確認の上、下記の手順で作業を行います。
 - 最初の起動時に、キーコード登録ダイアログボックスが表示されますので、「OK」をクリックします。
 - アルファベット大文字5桁、数字5桁のキーコードを枠内に入力し、「OK」をクリックします。
 - 「成功しました」と表示されたら、認証は完了です。
 - 「キーコードが正しくありません」と表示されたら、キーコードを再度確認の上、入力なおしてください。
 - どうしても認証がうまくできないときは、サポート窓口までお問い合わせください。
-
- ※ 同一キーコードはパソコンの買い替えによるインストールを含め、パソコン3台までしかお使いいただけません。
 - ※ 認証作業は、一度行えばその後は必要ありません。
 - ※ インターネットに接続していないなど、すぐにライセンス認証が行えない場合には、キーコード登録ダイアログボックスで「キャンセル」をクリックします。キーコード登録ダイアログは毎回起動時に表示されます。早めにインターネットに接続し、ライセンス認証を完了させてください。



● 利用者の登録

- 「高次脳機能バランサー」には、最大6名までのデータを登録することができます。
- 利用者ごとに取り組みの記録が保持され、高次脳機能のバランス推移が確認できます。
- 初めて起動したときには、「新しい利用者データを作りますか?」というダイアログボックスが表示されます。「はい」をクリックし、利用者データを作ります。



● 利用者名の入力

- マウスを使用して画面上のキーボードをクリックしニックネームを入力していきます。
 - 使用できる文字は、ひらがな・カタカナ・アルファベット(大文字・小文字)・数字です。文字の種類を切り替えるには、キーボード右端のボタンをクリックして切り替えます。
 - 空白文字を入力するには「(スペース)」ボタンをクリックします。
 - 入力した文字を消すときには、キーボード上部の「全て消す」「1字消す」いずれかのボタンをクリックします。
 - 入力し終わったら、「OK」をクリックします。
- ※ 入力した名前は、後から変更することもできます。



● 利用者選択メニュー

- 利用者が登録されたら、毎回ソフトの起動後に利用者選択メニューが表示されます。
- 利用者の名前を選び、「Start」ボタンをクリックします。
- 利用者データを削除したい場合は、利用者名のパネルの右上の「利用者削除」をクリックします。

利用者を削除します。
全ての取り組みデータが削除されます。

利用者のニックネームが表示されます。

この利用者で取り組みを開始します。



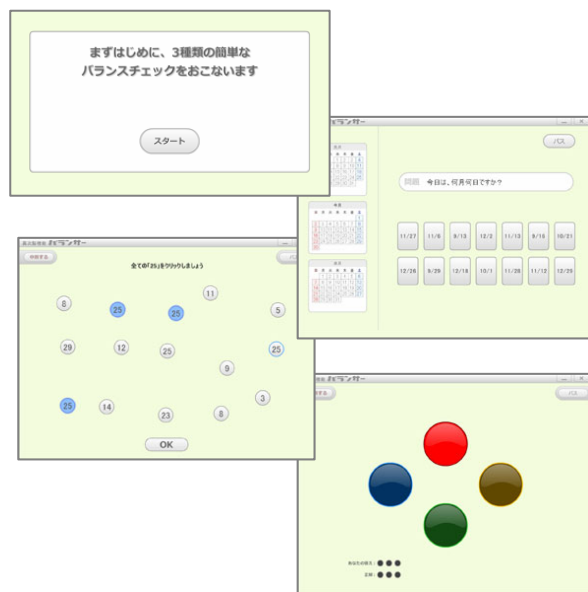
バックアップしたデータから利用者データを復元します。
※バックアップについてはp.12を参照ください。

ご家族で利用される場合など、追加で新たな利用者を登録します。

● 基本3種バランスチェック

- その日最初にソフトを使用するとき、基本的な3種類の認知機能を測定する、「基本3種バランスチェック」のメニューが自動的に起動します。
- これにより、基本的な3つの側面の推移を、毎日記録することができます。
- 基本3種チェックは、下記の3つのプログラムで構成されています。
 - 見当識チェック
 - キャンセレーション
 - フラッシュライト
- メインメニューから選ぶことで、1日に何度でも取り組むことが可能です。

※ あまり時間が無い日は、この「基本3種バランスチェック」に取り組むだけでも構いません。なるべく毎日「高次脳機能バランサー」に取り組んでいただくことをおすすめします。



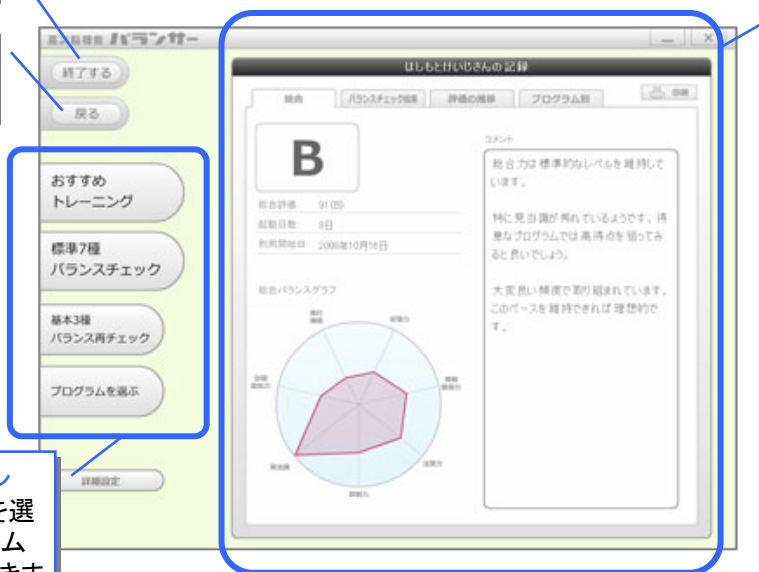
● メインメニュー

- 「高次脳機能バランサー」の中心となるメニュー画面です。ここからプログラムを選んだり、評価コメントやグラフを見たりすることができます。
- メインメニューは、主に「プログラム選択用ボタン」と「利用者の記録」の2つの部分からなっています。

本ソフトを終了します。

利用者選択メニューに戻ります。

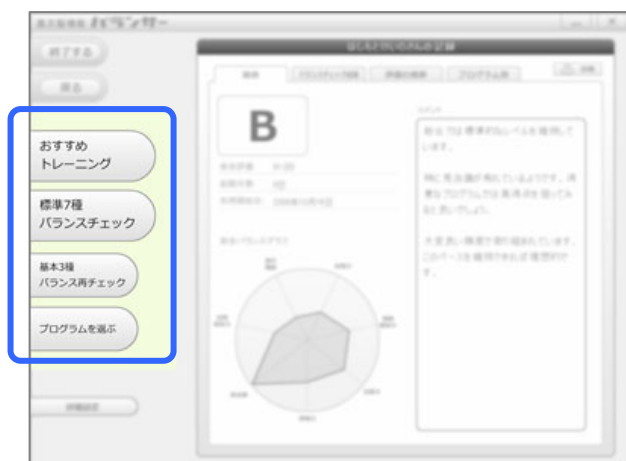
■プログラム選択用ボタン
取り組みたいプログラムを選んだり、おすすめプログラムを開始したりすることができます。



■利用者の記録

利用者の認知機能のバランスや取り組み状況を確認したり、印刷したりすることができます。

メインメニュー：プログラム選択用ボタン



● プログラム選択用ボタン：おすすめトレーニング

- ・ ボタンをクリックすると、おすすめトレーニングを選択するメニューが表示されます。
- ・ 7つの側面のいずれかを選んで集中的に鍛えたり、見当識を除く6つの側面からランダムに選ばれる6つのプログラムに挑戦することができます。
- ・ まずはこの「おすすめトレーニング」で、様々なプログラムに取り組んでみることをおすすめします。



● プログラム選択用ボタン：標準7種バランスチェック

- ・ 7つの側面のそれぞれから選び出された標準的なプログラムに取り組むことができます。
- ・ 基本3種のプログラムも含まれており、総合的にバランスを確認することができます。なるべく1日1度、標準7種バランスチェックをやってみましょう。

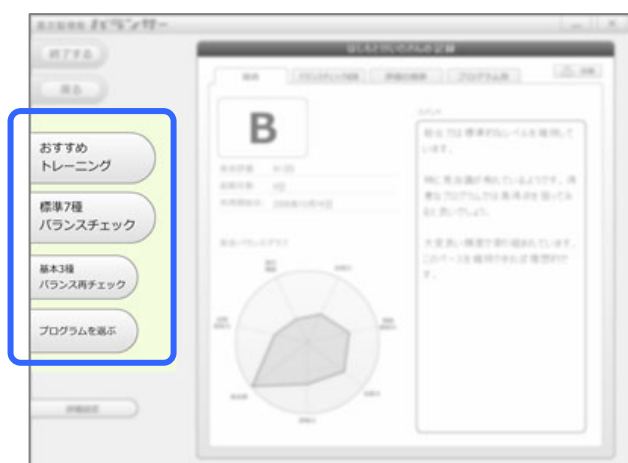


● プログラム選択用ボタン：基本3種バランス再チェック

- ・ 1日の最初の起動時に取り組む「基本3種バランスチェック」を、再度行うことができます。



メインメニュー：プログラム選択用ボタン～プログラム選択メニュー



● プログラム選択用ボタン：プログラムを選ぶ

- 「プログラムを選ぶ」ボタンをクリックすると、プログラム選択メニューが表示されます。

● プログラム選択メニュー

- 全てのプログラムを選び、取り組むことができます。
- 好きなプログラムや苦手なプログラムを、とことんやりたいときなどに利用します。
- まず「側面選択ボタン」で、7側面からひとつを選び、次にそこに関連付けられているプログラムを選びます。
- 選んだプログラムを開始するときは、「トライ」ボタンをクリックします。

メインメニューに戻ります。

■側面選択ボタン
クリックして、高次脳機能7側面からひとつを選択します。
選択すると、関連付けられたプログラムが右上に表示されます。

■バランスチャート
脳機能バランスがレーダーチャートで表示されます。
プログラムを選ぶ際の参考に使ってください。



選択した側面の説明が表示されます。

選択した側面に関連付けられたプログラムが一覧表示されます。
どれかをクリックして選択します。

選択したプログラムの情報や、これまでの成績が表示されます。

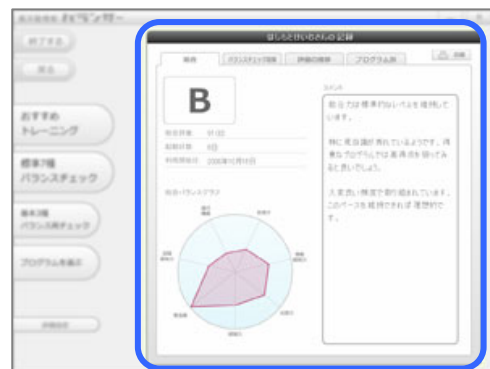
選択されたプログラムの説明が表示されます。

選択したプログラムをスタートさせるには、「トライ」ボタンをクリックします。

メインメニュー：利用者の記録・1

● メインメニュー：利用者の記録

- ・ 利用者の記録エリアでは、取り組みの結果が、レーダーチャートや折れ線グラフで示されます。
- ・ 表示可能なデータは4種類あります。画面上部のタブで切り替えて表示します。
 - 総合評価
 - バランスチェック結果
 - 評価の推移
 - プログラム別成績



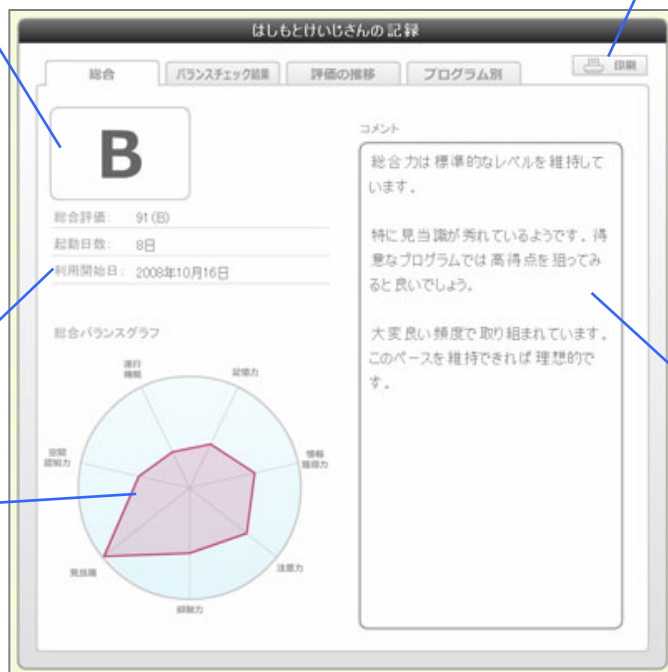
● メインメニュー：利用者の記録：総合評価

- ・ 利用者の総合的な力を、レーダーチャートとコメントで表示します。
- ・ 「印刷」ボタンにより、総合評価内容を、プリンタで印刷することができます。

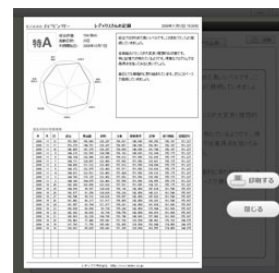
■総合評価レベル
現在の総合的な力をアルファベットで表します。
D→C→B→A→特A
となるに従って高い評価を表します。

これまでに取り組んだ日数、利用を開始した日が表示されます。

各側面ごとの評価をレーダーチャートで示します。
何が得意で何が苦手かが把握しやすいので、トレーニングの参考にしてください。



■印刷
総合評価と、各側面の成績の推移を印刷することができます。



■コメント
総合力を分析して、コメントで表示します。
トレーニングの参考にしてください。

● メインメニュー：利用者の記録：バランスチェック結果

- ・ 各種バランスチェックが終了すると、このバランスチェック結果の画面が表示されます。
- ・ 最新のバランスチェックの成績や、これまでの平均を確認することができます。

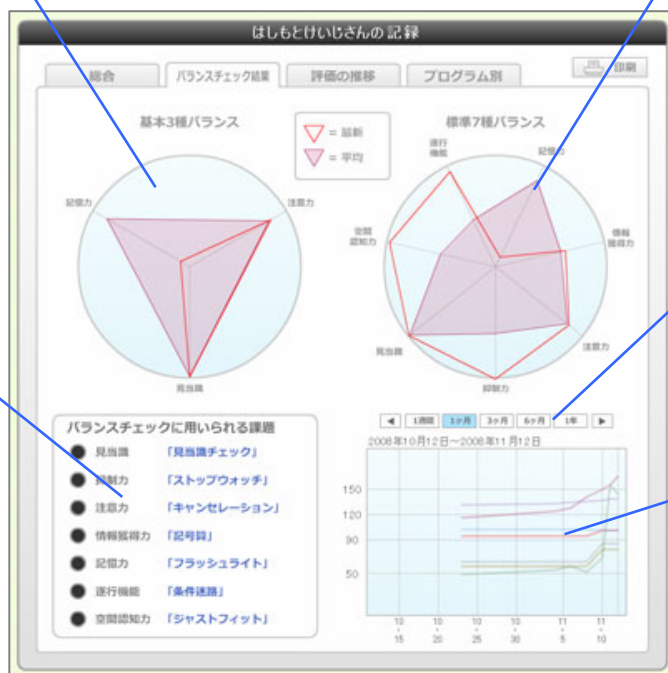
■ 基本3種バランス
基本3種バランスチェックで用いられるプログラムの最新の結果と、それまでの平均が表示されます。
赤い細い線が最新の結果で、平均はえんじ色で表示されます。

■ 標準7種バランス
標準7種バランスチェックで用いられるプログラムの最新の結果と、それまでの平均が表示されます。
赤い細い線が最新の結果で、平均はえんじ色で表示されます。

バランスチェックに用いられる7側面、7種類のプログラム名一覧です。
プログラム名をクリックすると、右の推移グラフの該当する線が強調表示されます。

グラフの表示幅を切り替えます。1週間・1ヶ月・3ヶ月・6ヶ月・1年のスケールで切り替えることができます。

バランスチェックに用いられる7種類のプログラムの評価の推移が、折れ線グラフで表示されます。
左のプログラム名一覧でクリックすると、選択されたプログラムのグラフの色が濃くなり強調表示されます。

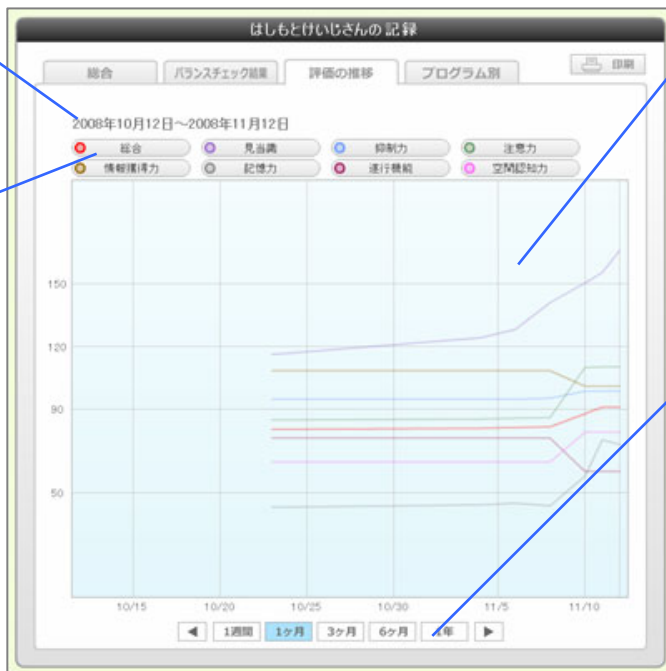


● メインメニュー：利用者の記録：評価の推移

- 総合評価と、各側面の評価の推移を確認することができます。

グラフが表示されている期間を示します。

■ 側面切り替えボタン
総合と各7側面を切り替えることができます。クリックすると、該当するグラフの色が濃くなり強調表示されます。



折れ線グラフで、評価の推移を表示します。折れ線グラフをクリックすると線が強調表示され、上部の「側面切り替え」ボタンが連動します。

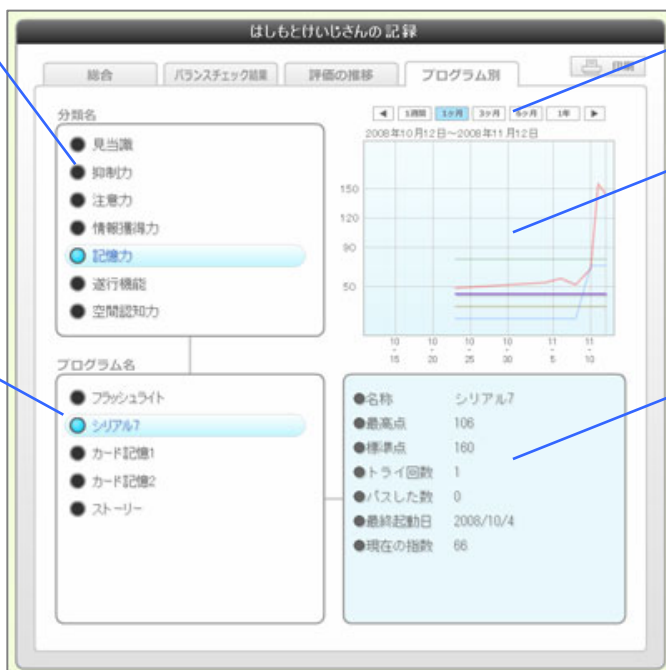
グラフの表示幅を切り替えます。1週間・1ヶ月・3ヶ月・6ヶ月・1年のスケールで表示することができます。左右の矢印ボタンで、スケールを変更することができます。

● メインメニュー：利用者の記録：プログラム別評価

- 各プログラムの取り組み記録や評価を詳しく見るすることができます。

7側面から確認したいものをクリックします。クリックすると、右側に関連付けられた全プログラムの評価推移グラフが表示されます。

選択された側面に関連付けられたプログラム名が一覧で表示されます。クリックすると、右側に詳しい取り組み記録が表示され、右上のグラフが強調表示されます。



グラフの表示幅を切り替えます。

選択された側面に関連付けられたプログラムの評価推移が表示されます。

選択されたプログラムの詳しい記録が表示されます。標準点とは、各プログラムに設定された得点の目安で、およその合格ラインを表します。

各プログラムの共通仕様

● プログラムスタート画面

- 各プログラムは、「スタート画面」→「問題画面」→「結果画面」の3ステップ構成になっています。
- 「スタート画面」と「結果画面」は全プログラム共通の仕様です。

プログラムを中断して
すぐにメインメニューに
戻ります

プログラム名が表示さ
れます。

このプログラムの現在の
評価が表示されます。

プログラムの難易度が
4段階で表示されます。

7側面のどこに属して
いるか表示されます。

プログラムの画面イ
メージが表示されます。

実際のプログラム画面
とナレーションで、詳し
い操作方法を説明しま
す。



■「パス」ボタン
プログラム開始後、問
題が難しいときなどに、
その問題をパスするこ
とができます。

プログラムの内容や操
作方法が大まかに説
明されます。

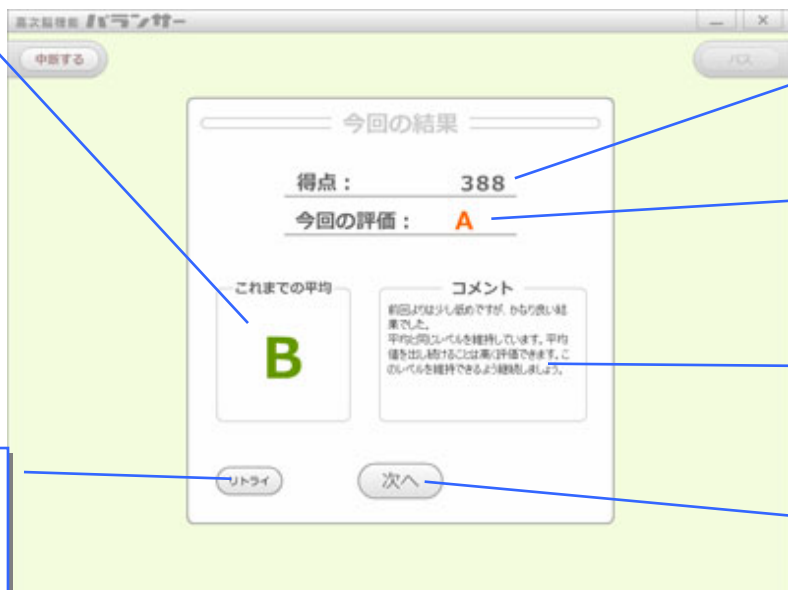
■「START」ボタン
プログラムの組み組
みを開始します。

● プログラム結果画面

- 今回の取り組み結果や、これまでの平均と比較した評価が表示されます。

今回の結果を含めた
これまでの平均を、D・
C・B・A・特Aの5段階
で評価します。
このプログラムの自分
の実力を判断する参
考にしてください。
利用者の記録画面等
で表示されるプログラ
ムの評価はこの値が
使用されています。

プログラム選択メニュー
から取り組んだ場合に
のみ表示されます。
同じプログラムにすぐ
に再挑戦できます。



今回の得点が表示さ
れます。

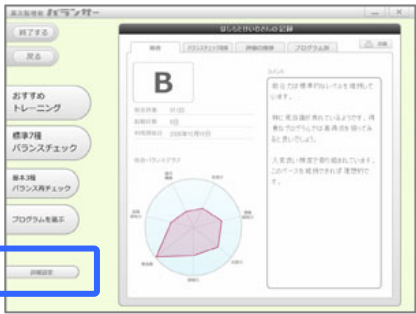
今回の取り組み結果
を、D・C・B・A・特Aの5
段階で評価します。

今回の取り組み結果
についてのコメントが
表示されます。

■「次へ」ボタン
表示内容を確認したら、
次に進みます。

● 詳細設定

- メインメニューの「詳細設定」ボタンをクリックすると、下記のような発展的な機能を利用することができます。
 - 利用者の名の変更
 - 利用者データのバックアップ機能
 - 指数データ出力機能
 - データ送信機能



● 詳細設定:利用者名変更

- 利用者のニックネームを変更することができます。
- 「利用者名変更」ボタンをクリックすると、利用者を登録したときと同じソフトキーボードが画面上に表示されますので、利用者名を編集します。

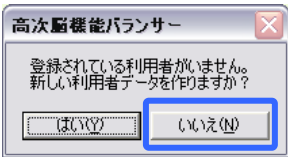


● 詳細設定:バックアップ

- 利用者データのバックアップファイルを、任意の場所に作成します。
- バックアップは、パソコンの買い替えによるデータの移動、OSのリストアによるデータの退避時などに活用できます。現在の取り組みデータをそのまま復元することが可能です。
- バックアップデータは、拡張子が「.kbb」のファイルです。

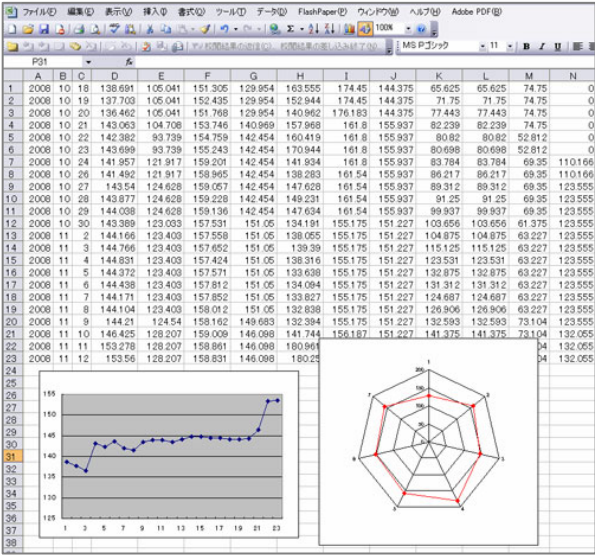
● バックアップデータの復元

- バックアップしたデータは、利用者選択メニューの「データインポート」ボタンをクリックすることにより復元できます。
- 「データインポート」をクリックし、ファイル選択ダイアログボックスで、バックアップしたファイルを指定します。
- ※ パソコンの買い替え時等、全く利用者がいない状態でデータを復元するには、「新しい利用者データを作りますか?」という質問ダイアログボックスで、「いいえ」を選択します。すると、そのままの状態ですべて利用者選択メニューを開くことができます。



● 詳細設定: 指数データ出力

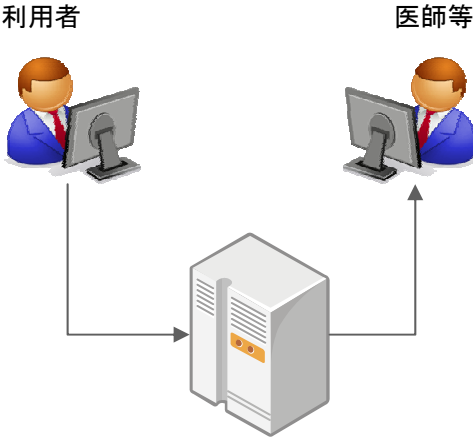
- 「高次脳機能バランサー」には、利用者と医師等がスムーズに連携をとるための機能が用意されています。そのひとつが、指数データ出力です。
- 指数データ出力は、総合、各7側面、各プログラムの日ごとの評価データをカンマ区切りのファイルとして出力します。出力されたファイルをスプレッドシートや統計ソフトなどのアプリケーション・プログラムで読み込むことで、評価データを利用し独自にグラフ化したり、詳細な数値で推移を分析することが可能になります。
- 指数データは、下に行くほど古い、降順データとして保存されます。
- 指数データは、拡張子が「.csv」のファイルとして保存されます。
- 出力データのタイトル行の記号は、次ページの対照表をご参照ください。



出力データ利用イメージ

● 詳細設定: データ送信

- レデックス株式会社と契約した医師等から手渡された「送信ID」があると、成績データをインターネットを通じて、サーバに送信することができます。
- 医師等はインターネットを通じて、送信されたデータを参照して分析することができるので、利用者の毎日の利用に基づいた的確なアドバイスを行うことが可能になります。



データ送信イメージ

● プログラムID・出力データタイトル対照表

• year	年（西暦）
• month	月
• date	日
• s_all	総合
• s_0	抑制力
• s_1	注意力
• s_2	情報獲得力
• s_3	記憶力
• s_4	遂行機能
• s_5	空間認知力
• s_6	見当識
• prg_6_0	見当識チェック
• prg_0_0	ストップウォッチ
• prg_0_1	マウス誘導1
• prg_0_2	マウス誘導2
• prg_0_3	図形シルエット
• prg_0_4	相似
• prg_1_0	視覚探索
• prg_1_1	キャンセレーション
• prg_1_2	変化のルール
• prg_1_3	双子探し
• prg_1_4	一人足りない
• prg_2_0	記号算
• prg_2_1	バラバラ漢字
• prg_2_2	トライアングル
• prg_2_3	宝探し
• prg_2_4	迷子探し
• prg_3_0	フラッシュライト
• prg_3_1	シリアル7
• prg_3_2	カード記憶1
• prg_3_3	カード記憶2
• prg_3_4	ストーリー
• prg_4_0	条件迷路
• prg_4_1	ルート99
• prg_4_2	ステップ
• prg_4_3	小銭王
• prg_5_0	ジャストフィット
• prg_5_1	鏡像
• prg_5_2	視点
• prg_5_3	ジグソーパズル

● 指数と評価の算出

- ・ 評価に利用する指数は、各プログラムの標準点から算出します。標準点を獲得すると指数100となります。
- ・ アルファベットで示す5段階の評価は、下記の通り算出します。
 - 特A : 指数150以上
 - A : 指数120以上
 - B : 指数90以上
 - C : 指数50以上
 - D : 上記以外

